

議案番号：議案第37号

案件名：新庁舎北棟建築工事（デザインビルド方式）請負契約について

議員氏名：松崎 健

討論内容：

それでは、私は、議案第37号、新庁舎北棟建築工事請負契約に反対の立場で討論します。

役場新庁舎をめぐることは、計画が、あらゆる角度から考えても非合理的であるとして反対を訴えてまいりました。私の主張はこれまでと変わるところはございませんが、改めて訴えさせていただきます。

まず、第1に、安全性の問題です。

建設予定地は、洪水浸水想定区域並びに土砂災害警戒区域に隣接する場所です。とりわけ、昨年8月の台風10号による冠水により、県道の交通は一時完全に麻痺、災害対策拠点となる、新庁舎をラディアン周辺果樹公園に建設する計画に見直しを迫るものと考えます。

これは単に建設予定地が水没するという話ではなく、そもそもたどり着けなくなるということが問題だというふうに私は考えております。

葛川の河川管理者の県が策定した葛川水系河川整備計画において、毎年25%の確率で予想される、毎時50ミリ以上の降雨に対応できることを目標にするとして、目標実現のために塩海橋下流から打越川合流点の河道整備を行うことを明記しています。

しかしながら、国道下付近及び、鉄道運行を確保しつつ行うJR下の工事が困難で着工できていないのが現状です。治水安全度の早期向上のため、雑木伐採、河床整理等の河川改修工事等を進めるとともに、新田橋下流から大応寺橋までの約0.7キロの河川掘削、護岸等整備を行うことで、目標の毎時50ミリ対応には達しないが、流域流量を現在の1.3倍にするとしています。ただ、仮に毎時50ミリ対応が達成されたとしても、今回の降雨は目標を上回る毎時63ミリであったことに鑑み、改めて、新庁舎計画そのものに問題があると言わざるを得ません。

次に、財政の問題です。

新庁舎に関わる地方債償還にはおおむね30年を要するとする一方、財政見通しは、10年後の令和15年までしか予測されていません。

令和6年6月に二宮町政策部財務課は、令和6年度二宮町財政見通しを作成、ここで歳入の見通しを示しています。一方、既に基本設計が開始もしくは完了している3事業、これは、新庁舎、ラディアン、福祉会館に関するものですけれども、地方償還イメージによると、年間負担額は、利率の変動によって変わりますが、新庁舎に関しては今後30年間にわたり6,000万円前後、3事業合計で1億3,000万円前後と算出しています。その一方で、財政見通しは10年間のみの予測というのは無責任ではないでしょうか。

さらに前述の財政見通しの中で、主な歳入である地方税をめぐる、次のような説明があります。

1人当たりの町民税は増加する見込みですが、人口減少に伴い、緩やかに減少し、固定資産税は3年ごとの評価替えの影響を受け、減少となる見込みとなることから、地方税総額は、緩やかな減少基調で推移する見込みです。以上が記載になります。

日本は、平成20年を境に人口減少時代へと突入し、二宮町も平成11年以降減少傾向にあり、その傾向は現在も継続しています。町税のうち、人口の変化によって増減するのは町民税個人分で、

歳入の2から3割を占めるとしています。将来にわたり人口減少を補うだけの町民1人当たりの町民税の増収により、町税総額が緩やかな減少基調で推移とする根拠は示されていません。あまりにも希望的観測と言えないでしょうか。

新庁舎に関わる地方債償還にはおおむね30年を要することに鑑み、財政的裏づけに関する説明は不十分と言わざるを得ません。

一方、財政見通しとは別に、二宮町が目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するために策定した二宮町人口ビジョンにおいて、将来人口シミュレーションによる町民税個人分の変化が示されています。

このシミュレーションによると、平成72年、2060年時点において、社人研推計準拠の将来推計人口に基づく町民税は、平成27年度より約54%減少します。

合計特殊出生率が早い段階から上昇するシミュレーションは約49%減少し、合計特殊出生率が比較的ゆっくりと上昇するシミュレーションは約51%減少しますとしています。

現在、2025年と、地方債償還に要する30年後、2055年とを比較すると、町民税個人分は現在の6割程度になることが読み取れます。地方債償還をめぐる財政的裏づけを考えると非常に不安です。

また、前述の財政見通しが示す予測との整合性も気になります。

予算委員会で説明を求めたところ、このデータ、将来人口シミュレーションによる町民税個人分の変化はナンセンスとの暴言とも取れる答弁がありました。にもかかわらず、議案第37号に賛同する議員は、将来の子どもたちへの借金のツケを回すことに関し、良心の呵責はないのでしょうか。

次に、建設資材の高騰です。

ロシア軍によるウクライナ侵攻後、円安傾向も手伝って、ここ数年、建設資材高騰により、多くの事業が中止もしくは計画の変更を迫られていることは、もはや説明は不要でしょう。最悪のタイミングとも言えます。

次に、これも前述の財政問題同様に、背景には人口減少社会があるのですが、県の合併推進構想に関する問題です。

県が策定した神奈川県における自主的な市町村の合併推進に関する構想において、県の人口も将来減少に転ずると予測されるとともに、これはもう既にこの予測のとおり減少が始まっているんですけれども、少子高齢化は一層進展する見込みとする中で、市町村が住民の負託に応える行政サービスを展開していくために、一定の人口規模、行政区域を要することが期待されるとして、市町村の自主的な合併を推進しています。

構想では、横浜市、川崎市の2つの政令指定都市及び、19年3月に合併した相模原市を除いた30市町村について、5つの都市圏域が設定されています。二宮町は平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、中井町とともに、湘南西圏域に含まれます。

この圏域では、平塚市と秦野市に拠点性が認められるとして、両市を中心として広域連携の取り組みを進めていく中で、将来的に、圏域一体となった合併検討への進展が期待されるとしています。

県の合併構想も踏まえて、巨費を投じての役場新庁舎建設が合理的か判断する必要があります。

次に、新庁舎建設による環境負荷についてです。

町は、二宮町気候非常事態宣言を発出、さらに、温室効果ガスの排出削減を進めるとともに、自然

と共生する豊かな未来への仕組みづくりが急務であるとしています。

続いて、にのみやゼロカーボンシティ宣言を発出、世界共通の問題である気候変動に対し、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素排出量削減に町民、事業者、行政が一体となって取り組むとしています。

一方、CO₂排出の原因をめぐっては、全世界における建設部門の排出するCO₂は全体の37%を占めていて、このうち、建物が利用される際に排出されるCO₂、オペレーショナルカーボンは70%を占め、建設時に排出されるCO₂、エンボディトカーボンは残りの30%を占めるとされています。

日本は、ZEBやZEHの普及でオペレーショナルカーボンの削減が進む一方、エンボディトカーボンへの取り組みが課題とされています。すなわち、CO₂削減のために、新たな建設は極力避け、既存の建物の有効利用を推進すべきであることを示しています。

しかしながら、空き校舎の庁舎利用をめぐっては、現時点で廃校となる学校がない中で、学校施設を役場施設に転用することを検討したことはありませんので、改修費用を算出したこともありませんとの答弁です。統廃合の必要性については常々訴えているとおりで、無責任かつ矛盾に満ちた振る舞いと言わざるを得ません。

ゼロカーボン、ZEB、ZEH、千年続く循環するまちづくり等々、お題目を唱えるだけで、行動は真逆では問題は解決しないことを理解していただきたいものです。

さて、これらに加え、さきの定例会の一般質問では、新たな問題が浮き彫りにされました。

村田町長は役場新庁舎建設に邁進する一方で、既存施設の維持管理に対し、極めて無関心であることが浮き彫りになりました。この議場をはじめ、町民センター、ラディアン、二宮小学校体育館等々で雨漏りが問題になっています。解決済みのものもあります。この背景に、既存施設の維持管理に対し無関心であることが、情報公開請求の結果、明らかになりました。村田町長は、新庁舎完成の暁には、維持管理にどう向き合うおつもりなのでしょうか。

ラディアンの維持管理をめぐり、情報公開請求の結果明らかになったことは、建築基準法上義務づけられている毎年の定期調査結果において指摘事項が町に示されているにもかかわらず、町はこれをおおむね無視、さらに県からも対応を促されているにもかかわらず、これも無視し続けた実態が明らかになりました。指摘事項は多岐にわたりますが、この中には、屋上劣化に関する指摘を長年放置した結果、雨漏りに至っているというものもあります。

鉄筋の建物で雨漏りを放置するのは、建物の劣化につながることは言うまでもありませんが、このことを目の当たりにしてきたとき、町の施設の各所で同様に雨漏りを放置している現状がありました。

そこで、ラディアン以外の施設の維持管理状況について質問したところ、大変残念ですが、ラディアンと同じ状況ですとの答弁がありました。

新庁舎が完成した暁には、その維持管理にどう向き合うつもりなのかを町長に問うたところ、残念ながら答えはもらえず、これからはしっかり維持管理をしていくとの部長答弁がありました。反訳を読み返して、町長答弁は非常に分かりにくく、少なくとも、新庁舎完成の暁に、その維持管理を適切に行っていく決意は感じられません。以上です。